



学校法人 弘徳学園
姫路大学
豊岡短期大学
こうのとり認定こども園

平成28年度 事業計画書

学校法人 弘徳学園

平成28年4月1日より、法人名称及び学校名称の変更を行っています。

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

本学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、分離・独立し近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体とする「学校法人近畿大学弘徳学園」を設立した。

そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学し、3つの学校を経営する学園へと発展し、さらに、平成19年12月に文部科学省から、「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」増設の認可を受け、平成20年4月に増設した。

本学園の経営規模は、独立4年目にして姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園を運営する学園となり、平成26年4月に保育園を開園し、幼保連携型認定こども園を開設したが、平成27年度からは、新制度の幼保連携型認定こども園に移行した。

そして、平成28年4月1日から、法人名を「学校法人弘徳学園」へ、大学及び短期大学もそれぞれ「姫路大学」、「豊岡短期大学」に名称を変更した。

この名称変更に伴い、豊岡キャンパスに設置していた法人本部を、姫路キャンパスに移した。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園の建学の精神は、近畿大学の創設者である世耕弘一先生が説かれた「教育の目的は、人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成することにある」を座標軸とする。そして、この精神を具現化するためには、自然環境に対する優しい心、人をおもいやる心、社会に対する深い洞察力及び正しい歴史観を体得することによって、はじめて、人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される人間を養い得ると考えている。

この建学の精神を達成するために、本学園では次の教育目標をかかげ、その実現に向け教職員一体となって邁進することに努めている。

- ①人間は人間だけで生きているのではなく、自然の中で他の生命とともに、生かされているという認識及びその共生を推進するための実践力を培う。
- ②専門職業人としてもつべき基本的な倫理観及び思いやりの心を培う。
- ③専門的に必要な基礎知識・技術を修得するとともに、創造性を培う。
- ④社会・歴史に対応する深い洞察力を身に付けるとともに、豊かな人間性を培う。
- ⑤国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う。

II 事業計画の概要

(1) 予算編成の基本方針

平成28年度予算編成における基本方針とその概要について

平成27年11月1日

近畿大学弘徳学園 法人本部

○平成28年度予算編成の基本方針

私学を取り巻く環境は、18歳人口の減少が続いていく中で、大学間の学生募集活動は熾烈を極めており、また、地球温暖化などの異常気象などがもたらす大きな環境変化など様々な諸問題により、私学経営はこれまで以上に大変難しい状況となっております。

こうした状況下にあつて、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ教育の質の保証を図るためには、学園経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければなりません。そのことは、中・長期的な財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できません。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育研究活動とその他の諸活動の計画が一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければなりません。

上記のような観点から、平成28年度の事業予算を含めた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内」に抑えることを目標とし、特に教育・研究経費に重点配分を行いながら、「収支の均衡」と「冗費の削減」を十分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とします。

なお、今日の学校経営は、財務情報はもちろんのこと、教育情報の公開が義務付けられ、経営の透明性と説明責任がより一層問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算を編成することが重要であります。

事業計画予算

- 教育研究と教育環境の充実に配慮
- 施設等の安全性確保に配慮
- 学園の将来構想を基礎として計画
- 緊急性、重要性、収支のバランスに配慮

収入予算

- 学生生徒等納付金については、在籍学生数見込を基礎に計上
- その他の収入科目については、実績見込み等勘案して計上

経常的経費の支出計画

- 収支の均衡と冗費の削減を予算編成の基本としている
- 物品調達等の重要性及び必要性及び緊急性を検討する
- 収入予測を超過しない経常的支出の計画を算定している

(2) 主な事業の目的・計画等

① 平成28年度の主な事業計画に係る経費は別表の通りである

別 表			(単位：千円)
事業No.	対象学校	事業名	予算額
28- 1	姫路大学	新2号棟への物品移動業務委託	14,000
28- 2	姫路大学	新2号棟における備品の購入	116,732
28- 3	法人本部	新2号棟における備品の購入(法人分)	20,000
28- 4	姫路大学	新2号棟におけるLAN配線およびAV機器の整備	147,960
28- 5	姫路大学	新2号棟における防犯カメラの設置	12,744
28- 6	法人本部	姫路大学大学院看護学研究科開設	18,660
28- 7	法人本部	新規採用職員募集に伴う広告費	1,350
28- 8	豊岡短大	豊岡短期大学 和花季会館電動椅子部品修理	1,100
28- 9	豊岡短大	模擬保育学習室の整備	1,288
28- 10	豊岡短大	平成28年度公開講座	3,340
28- 11	豊岡短大	和花季ひろば	994
28- 12	豊岡短大	こどもフェスタ2016	390
28- 13	豊岡短大	就職対策模擬試験	139
28- 14	姫路大学	姫路大学看護師等国家試験対策事業	12,819
28- 15	姫路大学	教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援	2,420
28- 16	姫路大学	学内病院合同説明会	901
28- 17	姫路大学	姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費	9,650
28- 18	姫路大学	姫路大学テニス部仮部室撤去	800
28- 19	姫路大学	人文学・人権教育研究 学術雑誌『翰苑』発行	2,049
28- 20	姫路大学	人文学・人権教育研究 講演会	624
28- 21	姫路大学	人文学・人権教育研究 学術講座	119
28- 22	姫路大学	人文学・人権教育研究 ブックレット「姫路大学叢書」の発行	283
28- 23	姫路大学	高速カラープリンタの入換え	4,670
28- 24	姫路大学	スクールバスの入替え	1,184
28- 25	姫路大学	看護学部セミナー	709
28- 26	姫路大学	看護の日 啓発事業	212
28- 27	姫路大学	分娩介助演習、及び新生児蘇生演習における必須物品の導入について	15,221
事業合計			390,358

② 平成28年度の主な事業計画に係る概要説明

(イ) 大学院設置申請事業

平成29年4月開設予定の姫路大学大学院看護学研究科の設置事業として、図書及び備品等の整備を行う。

(ロ) 姫路大学硬式庭球部事業

姫路大学硬式庭球部の活動において、海外遠征などを含めた、国内外における選手の育成環境の提供と能力強化を支援するための補助を今年度も計画している。

>>施設設備に関する主な事業

(イ) 姫路大学新2号棟整備関係事業

姫路大学新2号棟竣工に伴い、LAN配線などの基幹配線とAV機器の整備及び什器備品の整備を行うとともに、学校生活の安全配慮の観点から、新2号棟に防犯カメラを設置する事業を行う。

(ロ) 姫路大学看護学部演習備品の整備事業

看護学部の分娩介助演習及び新生児蘇生演習におけるシミュレーター(自動分娩介助全身モデル)等の整備を行い、授業環境の向上を図る計画である。

(ハ) 豊岡短期大学整備事業

現在の豊岡短期大学では、幼稚園や保育園を想定した教室がないため、一部教室を改修して「模擬保育学習室」を整備し、より実践的な模擬保育授業環境を整える事業を行う。

>>学生の就学支援に関する主な事業

(イ) 看護学部における国家試験(看護師、保健師、助産師)対策は、低学年時からの計画的戦略が必要であり、集中講義ゼミや模擬試験などをきめ細かに開講し、加えて入学前教育プログラムも実施する計画である。

- (ロ) 教育学部における教員採用試験対策として、教員採用試験対策講座（筆記試験対策）の開講や面接指導、模擬授業指導など本試験を見据えた内容で、きめ細かに学生支援を行う計画である。
- (ハ) 姫路大学と豊岡短期大学では、授業料等を減免する形で、様々な奨学金制度を設け、学生の就学をサポートする事業を計画している。

>>学術・研究関連事業

- (イ) 姫路大学「人文学・人権教育研究所」では、年2回学術雑誌「翰苑」を発行しており、書店にて一般販売している。
今年度は、「宮沢賢治を語る」「近代文学を読むー唱歌・童謡の歴史Ⅱー」など7つの学術講座の開講を予定している。そのほかにも、人権教育講演会、シンポジウムも開講予定である。
また、「姫路大学叢書」を発行する計画である。

>>地域貢献等を目的とする主な事業

- (イ) 姫路大学では、地域の様々な年代の人との交流を図り、地域への知の貢献を目指すとともに、大学施設の開放を積極的に行うため、「シニアオープンカレッジ」等の開講など事業を毎年計画している。
- (ロ) 豊岡短期大学では、異世代間交流及び地産地消を通しての地域貢献を目指し、短期大学の学生と地域の多世代の人々との、双方向的表現活動による異世代間交流を通して、それぞれの学習成果を発表する場として「和花季ひろば 育ちあいのなかまづくり」と但馬・丹後地域の魅力ある『食』と『地産地消』をテーマに「和花季ひろば 食のフェア」を計画している。
- (ハ) 豊岡短期大学で毎年開講している公開講座について、本年度は、国内外から著名な音楽家を招き音楽リサイタルを開催する計画である。また、パソコン講座についても、ワード（ワープロ基本操作）とエクセル（表計算基本操作）講座を開講する予定である。

>>地域子育て支援事業

認定こども園の新しい機能的な園舎にて、地域子育て支援事業、スクーリング預かり保育等の支援事業を行う予定である。

(3) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りである。

姫路大学大学院看護学研究科（博士課程）の設置構想

Ⅲ 財務の概要

(1) 予算の概要

① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	H28年度予算	H27年度予算(補正)	増 減	平成28年度予算概要
学生生徒等納付金収入	2,994,726	3,500,409	△505,683	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	61,669	84,749	△23,080	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	2,230	△2,230	
補助金収入	415,155	365,556	49,599	・私立大学等経常費補助金他
付随事業・収益事業収入	11,035	12,104	△1,069	・補助活動収入他
受取利息・配当金収入	262	447	△185	・受取利息
雑収入	16,508	19,612	△3,104	・コピー代等その他の雑収入
前受金収入	338,450	425,044	△86,594	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	64,812	88,418	△23,606	・預り金、前期末未収入金他
資金収入調整勘定	△425,103	△524,811	99,708	・前期末前受金、期末未収金
前年度繰越支払資金	1,612,787	2,899,446	△1,286,659	・前年度末の現金預金
収入の部合計	5,090,301	6,873,204	△1,782,903	

支出の部	H28年度予算	H27年度予算(補正)	増 減	平成28年度予算概要
人件費支出	2,011,903	2,066,872	△54,969	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	987,591	823,236	164,355	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	418,523	381,797	36,726	・学生募集経費等管理的経費
施設関係支出	40,216	2,172,343	△2,132,127	・建物等施設に関する支出
設備関係支出	241,513	393,614	△152,101	・機器備品等設備に関する支出
その他の支出	730,751	102,587	628,164	・前期末未払金の支払等
予備費	30,000	30,000	0	
資金支出調整勘定	△101,700	△710,032	608,332	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	731,504	1,612,787	△881,283	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	5,090,301	6,873,204	△1,782,903	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

※資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものである。

② 事業活動収支予算の状況

(単位：千円)

		科目	H28年度予算	H27年度予算(補正)	増減	平成28年度予算概要
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,994,726	3,500,409	△505,683	資金収支予算参照
		手数料	61,669	84,749	△23,080	
		寄付金	0	6,218	△6,218	
		経常費等補助金	415,155	365,556	49,599	
		付随事業収入	11,035	12,104	△1,069	
		雑収入	16,508	19,612	△3,104	
		教育活動収入計	3,499,093	3,988,648	△489,555	
教育活動支出の部	事業活動支出の部	科目	H28年度予算	H27年度予算(補正)	増減	平成28年度予算概要
		人件費	2,025,580	2,074,437	△48,857	・退職引当金他含 ・減価償却含 ・減価償却含 資金収支予算参照
		教育研究経費	1,224,865	988,899	235,966	
		管理経費	455,814	427,335	28,479	
		教育活動支出計	3,706,259	3,490,671	215,588	
教育活動収支差額	△207,166	497,977	△705,143			
教育活動外収入の部	事業活動収入の部	科目	H28年度予算	H27年度予算(補正)	増減	平成28年度予算概要
		受取利息・配当金	262	447	△185	資金収支予算参照
		教育活動外収入計	262	447	△185	
	事業活動支出の部	科目	H28年度予算	H27年度予算(補正)	増減	平成28年度予算概要
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
	教育活動外支出計	0	0	0		
	教育活動外収支差額	262	447	△185		
	経常収支差額	△206,904	498,424	△705,328		

特別収入の部	事業活動収入の部	科目	H28年度予算	H27年度予算(補正)	増減	平成28年度予算概要
		その他の特別収入	0	7,891	△7,891	
		特別収入計	0	7,891	△7,891	
特別支出の部	事業活動支出の部	科目	H28年度予算	H27年度予算(補正)	増減	平成28年度予算概要
		資産処分差額	0	36,521	△36,521	
		特別支出計	0	36,521	△36,521	
	特別収支差額	0	△28,630	28,630		
	[予備費]	(0)	(0)	0		
		30,000	30,000	0		
	基本金組入前当年度収支差額	△236,904	439,794	△676,698		
	基本金組入額合計	△902,407	△1,942,034	1,039,627		
	当年度収支差額	△1,139,311	△1,502,240	362,929		
	前年度繰越収支差額	△1,736,048	△233,808	△1,502,240		
	基本金取崩額	0	0	0		
	翌年度繰越収支差額	△2,875,359	△1,736,048	△1,139,311		

(参考)

事業活動収入計	3,499,355	3,996,986	△497,631	
事業活動支出計	3,736,259	3,557,192	179,067	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

※事業活動収支とは

平成25年4月22日公布の学校法人会計基準の一部を改正する省令により、消費収支は事業活動収支に改正された。

当該会計年度の事業活動ごとに対応する事業活動の収入と支出の内容及び基本金組入後のすべての事業活動収支の均衡の状態を明らかにするものである。

企業会計でいうところの損益計算に近いものであるが、学校法人は営利が目的ではなく、収支の均衡を目的としているものである。

事業活動ごと…教育活動収支と教育活動外収支の経常収支と前記以外の特別収支の区分

③ 予算概要の説明

資金収支予算について

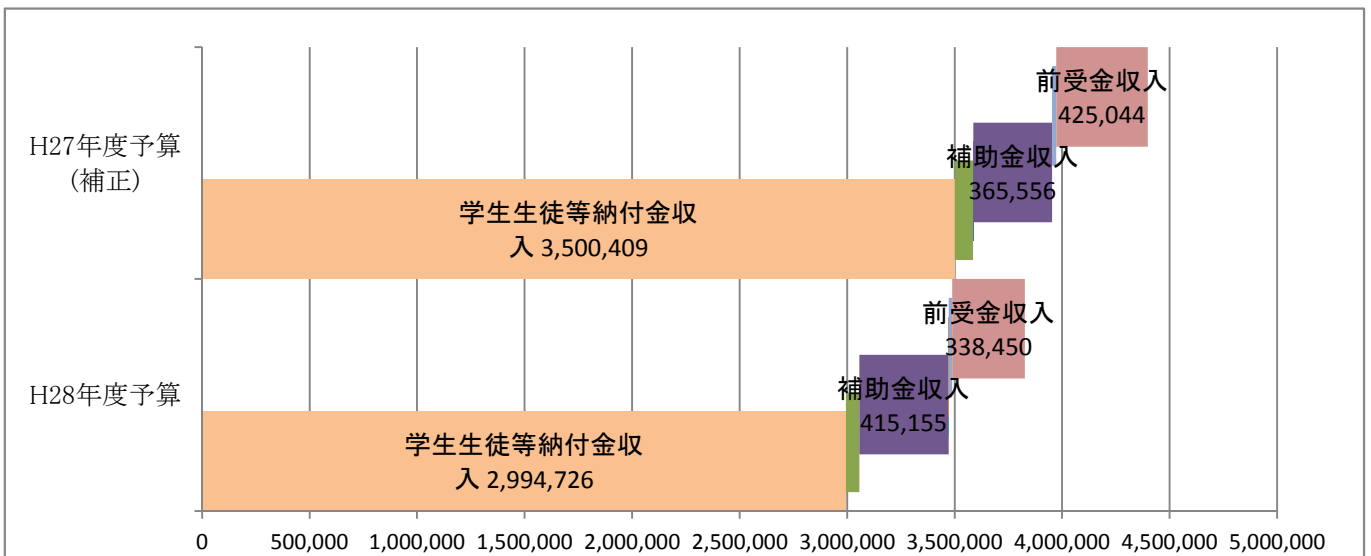
資金収支予算の収入の部では、前年度予算に比べ全体的に収入減の予測となっている。収入減の予測の要因は、通学部及び通信教育の入学生及び在籍者数の見込数が前年度を下回る予測となった為である。

資金収支予算の支出の部では、前年度予算に比べ、支出減となっている。主な大科目の増減内訳としては、人件費 5千万円減少、教育研究経費支出 1億6千万円の増加、管理経費支出 約4千万円増加、施設関係支出 21億3千万円減少、設備関係支出 1億5千万円減少となっている。教育研究経費の増加については、高機能な演習モデルの整備など教育・研究活動と教育環境の充実に重点を置いた予算配分を行った為である。

施設関係支出と設備関係支出の減少は、姫路大学の新2号棟建築に関する支払計画による差額である。その他の支出の増加は、新2号棟建築に係る前年度未払金の支払額を予算計上したため、大幅な増額となった。

平成28年度の資金収支予算は、前年度に比べ予算額を圧縮しており、よって平成28年度末に保有する現金預金の見込金額、いわゆる翌年度繰越支払資金は、7億3千万円の見込となり、平成26年度決算に比べ 21億3千万円の減少、前年度予算に比べ8億8千万円の減少が見込まれることとなる。

資金収支収入予算における前年度予算のとの比較



単位：千円

事業活動収支予算について

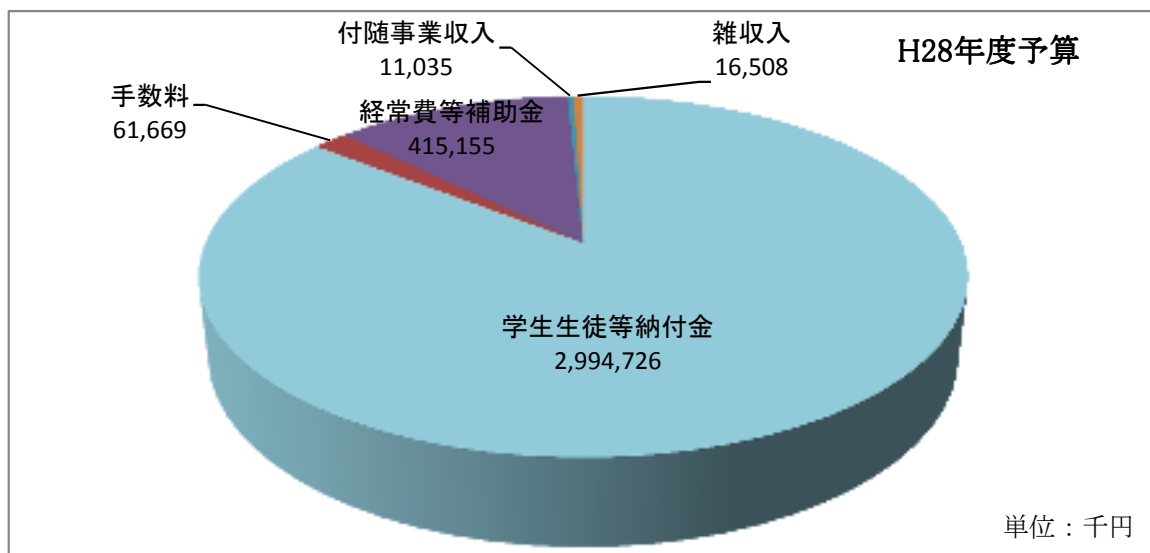
平成28年度の事業活動収支予算における、教育活動収支と教育活動外収支の差額の計である経常収支差額は△約2億1千百万円、特別収支差額は0円である。この活動収支の差額に予備費を加えた基本金組入前当年度収支差額は、△約2億4千万円の赤字となる予測である。

事業活動収支差額に基本金を組入した当年度収支差額は、約△11億4千万円の赤字、前年度の繰越収支差額を調整した翌年度繰越収支差額は、約△28億8千万円の累積赤字となる予測である。

前年度まで、単年度の収支差額は黒字であったため、翌年度繰越収支差額いわゆる累積赤字を順調に圧縮してきたが、平成28年度は、姫路大学新2号棟建築の大型設備投資の支払計画等により、経費の増加と基本金の組入額が大きく、単年度の赤字に加えて、累積赤字も大きく増加する予測となっている。

構成図①

事業活動収支予算に係る収入の構成



事業活動収支予算における支出の構成

